

## 沼津柿田川ロータリークラブ



世界へのプレゼントになろう

RI会長 K. R. ラビラビンドラン  
 RI第2620地区ガバナー 野口 英一  
 会長 梅田 欣一  
 幹事 小川 隆洋  
 例会日時 毎週月曜日 12:30点鐘  
 例会場 沼津御商社センター 2F  
 〒411-0912 静岡県駿東郡清水町御団地203  
 TEL 055-971-6500  
 〒410-0312 沼津市原1771-2 増田方  
 TEL 055-969-2321 FAX 055-969-2322  
 E-MAIL officework@rcj-nk.org

事務局

## 会長挨拶



第1577回例会 会長挨拶

会長 梅田欣一

みなさん、こんにちは。

11月はロータリー財団月間です。本日の卓話は、ロータリー財団についてですが、ロータリー財団委員長の岩本さんがお休みですので、古泉さんをお願いしております。古泉さん、宜しくお願い致します。

本日の会長あいさつは、My Rotary にあった記事で、世界ポリオデーにあわせて10月23日にニューヨークで行われた特別イベントとして開催されたライブストリーミングの話をしします。「ライブストリーミング」とは、インターネットで視聴するテレビの生放送みたいなものです。

7月にナイジェリアでポリオの無発症期間が1年間を過ぎたことを祝い、ポリオのない世界が限りなく目前に近づいていることが報告されました。ユニセフとロータリーが共同開催したこのライブストリーミング行事には、150人以上が参加しただけでなく、世界中から何千もの人が視聴しました。「Time」誌の総合編集者、ジェフリー・クルーガー氏が司会を務め、ユニセフのアンソニー・レイク事務局長をはじめとする世界ポリオ撲滅推進活動(GPEI)のパートナー団体の代表者やポリオ撲滅をサポートする著名人が参加しました。

GPEIは、ロータリー、世界保健機関(WHO)、ユニセフ、米国疾病対策センター(CDC)が主要パートナーとして約30年間先導してきたもので、現在はビル&メリンダ・ゲイツ財団も支援に加わっています。ポリオ撲滅が達成されれば、ポリオは歴史上2番目に地球上から姿を消す疾病となります。

レイク氏は、「世界が紛争で引き裂かれ、人びとの絆がこれまで以上に薄く、弱くなっている。ポリオを撲滅することは、人類にとって最大の功績になるだけでなく、多様なパートナーが共通の

目標の下に力を合わせ、素晴らしいことを達成できる例になるでしょう。」と話されていました。

CDCのポリオ担当マネージャーのジョン・バータフォイ氏は質疑応答でナイジェリアでのポリオ無発症について、政治的なコミットメントと宗教・地域リーダーの参加がカギだったと説明しました。そして、「ナイジェリアでの成功の裏には、難しい状況の中で懸命に活動した何千人ものボランティアの力があります。これによってすべての子どもたちにワクチンが行き届きました。」と話されていました。

クルーガー氏とバータフォイ氏は、ポリオ撲滅は医療費の削減という意味でも大きな投資であると強調しました。撲滅を達成することで、今後20年間で500億ドルの医療費の節約が期待されています。これは同時に、撲滅に失敗すれば、ポリオが瞬間に世界へと拡散し、10年間で毎年20万件の発症につながる恐れがあることを意味します。

ロータリーからの新たな資金援助の話もなされました。ロータリーは、1979年以来、ポリオ撲滅に15億ドル以上を寄付してきました。国際ロータリーのジョン・ヒューコ事務総長は、ポリオ撲滅のため、ロータリーから新たに4040万ドルを拠出することを発表しました。そして、そのうち2600万ドル以上がアフリカ、530万ドルがインド、670万ドルがパキスタン、40万ドルがイラクに充てられると説明しました。また、予防接種と監視活動には約100万ドルを拠出することです。

最後に、ヒューコ事務総長は、「今夜のイベントは、ポリオのない世界の実現に向けたこれまでの達成とこれから成すべきことを確認する場です。撲滅が達成されれば、ポリオという予防可能な病から子どもたちを救えるだけでなく、次の世界的な保健活動への土台をつくり、人類の健康を守るための遺産を遺すことができます。」と話されていました。

## 幹事報告

## ■ 事務連絡 ■

- \* ガバナー事務所より  
ガバナー月信11月号 到着
- \* ロータリーの友事務所より  
ロータリーの友11月号 到着

## ■ 例会変更 ■

- \* 御殿場ロータリークラブ  
11月5日、12日、19日(木)→東山荘  
11月26日(木)→THE GOTEMBAKAN

## ■ 週報到着 ■ 御殿場RC・富士RC・新富士RC

## 卓話

奉仕プロジェクト委員会 委員 古泉榮一  
～ロータリー財団の始まり～

壮大なプロジェクトも極小さな種子から成長して来るものがあります。ロータリー財団も始まりはそういった地味なものでした。

1917年に国際ロータリー会長のアーチ・クランプは、アトランタ大会に出席した代表者たちに語りました。「世界で善いことをする目的のために基金を設置することは、極めて妥当なように思われます。」と。これに対する反応は丁重で好意のある物でしたが、その基金の実現は遅々として進みませんでした。

その一年後、この基金の当初の名称だった「ロータリー基金」がその最初の寄付金米貨26ドル50セントをカンザス市のロータリークラブから受け取りました。この金額は1918年ミズリー州カンザス・シティ大会で残った残額でした。その後、毎年、少額の寄付金が寄せられましたが、その後6年経っても基金は僅か米貨700ドルに過ぎなかったそうです。

それから10年後、「ロータリー財団」が1928年のミネアポリス大会で正式に認証されました。次の4年間で、財団基金は米貨5万ドルに成長しました。

1937年には、このロータリー財団の目標として、米貨200万ドルの目標額が発表されましたが、ポールハリスの逝去により、このロータリーの創始者を讃える意味の追悼寄付金がどっと寄せられ、「ロータリー財団」の新しい時代が始まりました。その時からロータリー財団は「色々な国々の人々の間の理解と友情」を促進するという高貴な目的を達成して来ているのです。

1954年までには単一年度としては初めて50万ドルの寄付を受け、1965年には100万ドルを受領しました。ロータリー財団があのような貧しい出発から、今では世界中で教育的・人道的な善行を行う為の寄付金として、毎年6500万ドル以上を受け取っているということを考えるだけでも目を瞠ります。

～ロータリー財団について～

ロータリーの友2月号に、ロータリアンの為のロータリー財団の資金モデル入門の記事が掲載されておりました。その中の「私たちの資金」について紹介し、ロータリー財団に注目してもらえれば幸いです。既に読んだ方もいると思いますが、私も不勉強ですから皆さんと一緒に資金の流れを勉強してみたいと思います。

・年次基金(シェア)とは

地元や海外におけるロータリー財団の幅広い活動を支える主な資金源エブリ・ロータリアン・エブリ・イヤー(EREY)は、財団の年次基金への支援を促進するための取り組みで、EREYは全てのロータリアンが毎年年次基金に寄付することを奨励するものです。地区の全ロータリークラブからの年次基金への寄付は、2つの資金、「国際財団活動資金」と「地区財団活動資金」に分けられます。このシェアシステムを通じて、ロータリー財団への寄付が補助金へと生まれ変わります。当クラブもこの資金を利用して「柿田川環境保全活動」に利用しております。

・国際財団活動資金(WF)とは

世界中で最も優先される活動に充てられ、シェアへの寄付の50%が国際活動資金となります。全ての地区が利用できる補助金とプログラムの為に国際活動資金を活用出来ます。

・地区財団活動資金(DDF)とは

地区や地区内クラブが選んだ、財団やクラブ及び地区のプログラムに充てられ、地区は財団地域活動資金の半分までを地区補助金として利用できます。地区財団活用資金の残りは、グローバル補助金として利用するか、ポリオプラス、ロータリー平和センター、他地区に寄贈する事が出来ます。

・恒久基金とは

財団及びその補助金とプログラムの未来を確かなものにする為の基金で、恒久基金の使用可能な投資収益により、財団が既存の活動を拡大するとともに、新しい活動を支援することが可能となります。寄付は、恒久的に投資され、基金の評価額の合計の一定の割合が、毎年、財団の補助金とプログラムに直接充てられます。

・ロータリー財団の目標、使命、活動について

財団委員長をされた方の記事を紹介してみたいと思います。

ロータリー財団の目標は、博愛、慈善、教育または人道的という特質をもつ明確かつ効果的プログラムの使命促進を通じて、さまざまな国の国民の間に理解と友好関係を増進する事にあります。財団は地域レベル、全国レベル、国際レベルの人道的、教育的、文化交流プログラムを通じて、ロータリーの綱領を基幹として、4つのテストに照らしながら世界理解と平和を達成しようとする国際ロータリーの努力を支援することです。11月をロータリー財団月間と定められたのは、財団への寄付の増進を図ると共に、財団の活動支援内容をより深く理解すると同時に、この月間中にクラブは少なくとも一つのクラブ・プログラムを財団の為に実施する事になっております。財団プログラムには、国際親善奨学生派遣、受け入れ、平和奨学生への支援、同額補助金、WCS、GSEチームへの参加など、積極的な企画、立案、実施とより成果が上がるよう期待されております。それは自分たち身近な地域から、近い国から世界的に効果的なプロジェクトの促進を通じて、人々の間に思いやりと相互理解の心を育み、友好親善関係を増進し、人々の幸せと世界平和を達成する事にあります。

財団は、平和の為に活動する源泉であることを再認識し、善意による寄付は義務ではなくロータリアンの誇り高い権利であること、この寄付行為は人類の為に崇高な行為であることを奨励し、行うことはクラブの大事な使命であり、私たちロータリアンは明るい幸せな社会を創る為に手を差し伸べなければならないと思います。

私たちの住む地域にはまだ多くの難問が山積しております。貧困、飢餓からの解放。文化の相違による地域間の紛争などは、人類永遠のテーマです。勇気をもって地道に活動を続けなければ必ず達成する事が出来ると思います。

・研究グループ交換(GSE)

GSEはロータリー財団で最も人気があり、また非常に意義のあるプログラムのひとつは研究グループ交換です。1965年に、カリフォルニア州と日本の地域間で最初に交換が行われて以来、この交換プログラムは事業や職業に就いている4万4500人以上の若い男女に教育的経験を供与しましたが、この人数はおおよそ9000のチームに分けられて実施されています。このGSEプログラムでは、ロータリーの地区の2つが一体となり互いに研究チームを派遣し、7,950万ドルを上回る金額が配分されています。GSEの魅力ある特徴の一つは、訪問チームメンバーが訪問先のロータリアンとその家族に暖かい友情と歓待の精神で受け入れられ、歓談し、また一緒に生活するという事です。GSEチームは、農場、学校、工場、事業所、それから政府施設を訪問しますので、他の国の事を学ぶことの他に、親善大使としての役目も務めます。チームメンバーは、その他の人たちに自分達の母国のことを色々説明します。最近では、単一職業あるいは文化的グループのチームによる交換が行われました。国と国との間に人道的プロジェクトを発足させたGSEもあります。そういう直接の個人的接触の多くが永久的な友情関係に開花していきます。研究グループ交換プログラムは、ロータリアンの人達に世界的理解を増進する為の最も楽しく実質的で意義あるやり方の一つです。

私が、1999年の勝山ガバナー年度の時に静岡第3分区の分区代理をしてりましたが、その時に受入したGSEは国際ロータリー6690地区(アメリカ)オハイオ州からの派遣で、メンバーは5名でした。団長は女性で、名前はクリス・ウィルソン32歳で、男性2名・女性3名で、団長のクリスは以前青少年交換で来日し、一年間学んだそうで、日本語が堪能で陽気なアメリカ人でした。帰国後郵送された手紙は日本語で書いてありました。静岡第3分区の受け入れは、2日間で初日のホームステイは富士宮市と富士市のロータリークラブの会員にお願いし、翌日はスポーツデーとして、山宮ソフトボール球場で親善ソフトボール大会を開催して和やかなひと時を過ごしました。そして日本からの派遣GSEチームや帰国学生との交流を深めました。二日目はフリーデーとして、一日富士市内のホテルで寛いでもらいました。翌日、清水市のクラブに引継ぎして無事終了する事が出来ました。私たちクラブ会員からもGSEに参加出来る事を期待しております。

以上簡単に受け入れについて紹介しました。

## 第六回 理事会報告

### ①12月の例会プログラムについて

- 7日 1581回 クラブ協議会(年次総会・次年度理事発表・会長幹事半期報告) ※理事会/11:30
- 14日 1582回 クラブ協議会(半期各委員会報告)
- 21日 1583回 新会員卓話(荒川会員)
- 28日 1584回 →例会変更 26日(土) X'mas 家族例会

### ②指名委員会について

- ・細則により、本日会長が求め、大石副会長が委員4名を指名。12月7日例会にて次年度理事役員を発表する。

### ③地区大会について(11/6~7)

- ・出席者 梅田、小川、太田、前田、川口、安本、濱田、大石小早川、事務局(10名)
- ・バス 野口商店前5:50着→沼津駅北口6:15着→甲府
- ・二次会 なし(個別二次会は随時対応)
- ・会場到着時に記念新聞用に集合写真を撮影するので、一諸に行動して下さい。

### ④クリスマス家族例会について

- ・場所 ヌーボサンス(元ラセール)

### ⑤沼津4RC合同例会について(1/18・月)

- ・場所 沼津リバーサイドホテル
- ・詳細は決定次第ご案内致します。

### ⑥会員増強退会防止について

- ・皆様のご協力を宜しくお願い致します。

### ⑦その他

- ・グランドゴルフ大会  
11月3日に開催予定で、今回は子供とシニア40名が参加予定。会長、幹事、前田会員が参加します。
- ・ドローン撮影  
第一回目のドローン撮影を行ったところ、県より映像を知事に見せたいとの連絡がり、クラブ名とのクレジットをし、提出しはどうかと、前田会員より報告。理事会にて承認しました。
- ・次年度ガバナー公式訪問  
次年度は4クラブ合同で開催したいとの連絡がありました。

### 本日のゲスト・ビジター

ビジター 沼津北RC 大塩秀樹様  
ゲストはありませんでした。

## 指名委員発表

副会長 大石昭裕

委員は古泉会員、原会員、菊地会員、濱田会員、大石です。  
以上のメンバーで検討し、12月7日の例会にて次年度理事役員を発表させていただきます。宜しくお願い致します。

## 委員会報告

### クラブ広報委員会

委員長 前田守

11月3日(火・祝)に事業の一つ、ペアグラウンドゴルフ大会が開催致します。今回は当クラブと、伊豆河童様とのコラボ提供です。クラブの公共イメージUPに繋がる活動です。

あと、My Rotaryの登録を今週中に宜しくお願い致します。

### 奉仕プロジェクト委員会

委員 川口尚史

11月22日(日)のふれあい広場ですが、集合は8:30。服装はピンクのポロシャツにクラブジャンパー。2千円程度の売れそうな商品をお願いします。(当日欠席者は次回例会か、当日出席者に託して下さい。)駐車場は、野口商店さんのご厚意により、会社裏手に10台分貸していただけます。そちらが満車時は食遊市場へお停めください。

## スマイル報告

梅田欣一 結婚記念日です。  
梅田欣一 妻の誕生日です。  
梅田欣一 ロータリー財団へ。  
小川隆洋 ロータリー財団へ。  
小川隆洋 28回目の結婚記念日です。  
大石昭裕 誕生日お祝い有難うございます。  
大石昭裕 ロータリー財団へ。  
伊藤 毅 ロータリー財団へ。  
濱田清明 ロータリー財団へ。  
濱田清明 今月もよろしく。  
小早川すみゑ ロータリー財団へ。  
古泉榮一 ロータリー財団へ。  
徳山明広 誕生日お祝いありがとう。  
安本 晋 ロータリー財団へ。  
野口郁夫 ロータリー財団へ。  
前田 守 早退します。

## ◆次回例会プログラム◆ クラブ協議会(地区大会報告)

### 出席報告

会員数	出席計算に 用いた会員数	出席計算に 用いた出席者	出席率	10月19日 修正出席率
21名	19名	14名	73.68%	84.21%

出席: 古泉・太田・野口・菊地・前田・梅田 他 計14名

欠席: 岩本・中田・荒川・山本・齋藤 計5名

MU: 中田・山本・伊藤 計3名